

中学校給食施設整備について

資料 No. 2

1 検討の概要

中学校給食の導入及び実施に関する検討については、平成26年3月からアンケート調査、給食検討委員会、議会特別委員会、議会常任委員会、教育委員会、総合教育会議などで検討、協議を行い、令和2年5月末日には給食施設等調査業務委託が完了しました。令和2年12月に給食施設等基本設計業務委託に着手したところ、施設整備に係る新たな課題が委託業者から提示され、令和3年7月には当該課題を解決するため、委託期間などの変更契約を締結し、当該契約が令和4年2月末日に終了し、報告書が提出されました。

この報告書を受け、施設及び設備の整備費の総額が、約900,000千円となることについて、令和4年3月から5月にかけて、給食検討委員会、教育委員会、議会常任委員会に報告いたしました。

給食検討委員会及び教育委員会では、整備方法を検討するとともに、早期の給食実施を目指すものとし、議会常任委員会においても、整備方法は再度検討するとの意見でありました。

2 給食検討委員会について

(1) 検討内容

令和4年5月11日開催の第7回給食検討委員会において、教育委員会事務局から3つの案を提案いたしました。案1では、中学校敷地内の別の場所に整備する、案2では、中学校敷地外の町有地等に整備する、案3として、案1、案2及び現在検討している学校のあり方と併せて検討し、方向性が決まるまでの間は、早期の給食実施を図るため、新たな給食配膳方式による給食を導入するという提案をさせていただいたところ、次のような意見がありました。

- デリバリーの場合、町民のお金が委託業者に支払われる。委託業者が町内にあり、お金が町内で循環しているのであれば理想です。
- 学校のあり方が決まってから、中学校の給食室をどうするかを決める。また、現中学校の敷地に建てるのは難しいと考える。
- 約900,000千円かかるのであれば、小学校を優先して建替えるなどして、大きめの給食室を整備するなど、中学校と親子方式にする。
- 保護者は、働きながらお弁当を作るのは大変という意見も多々あるので、試験的にデリバリー方式を進めるなど、早急な対応をお願いしたい。

(2) 検討結果について

中学校給食施設整備について、案3で進めるものとし、給食配膳方式を早急に検討し、早期に給食を実施することを要望することとなりました。

3 教育委員会について

令和4年5月24日開催の教育委員会定例会において、給食検討委員会の検討結果について報告し、協議したところ、教育委員会としても案3となりました。

4 議会常任委員会について

令和4年6月16日開催の議会総務文教・福祉常任委員会において、給食検討委員会の検討結果及び教育委員会の協議結果を報告し、中学校給食施設整備の今後について報告したところ、特段の意見はありませんでした。

5 今後の検討について

教育委員会としては、令和4年5月11日開催の給食検討委員会の検討結果、令和4年5月24日開催の教育委員会の協議結果及び令和4年6月16日開催の議会常任委員会への報告結果を踏まえ、現時点では、中学校敷地内外での給食施設整備の方法と学校のあり方の検討と併せて検討するものとし、この検討結果に基づく給食施設整備が完了するまでの間に実施する給食の方式を、県下の状況を参考にしながら、早期に検討したいと考えております。

なお、給食施設整備が完了するまでの間に実施する給食の方式の早期検討については、検討に着手するものの、給食実施については民間事業者の協力、財政措置、実施の効率性など様々な観点から検討しなければならないため、時間を要すると考えております。